

1カ月の成功のついでに

オープニング ハプニング ホーピング!

八月七日 南場。

あついあつい。赤、青、黄、白、緑
あらゆる原色の人固が炎となって歩き
回っていた会場から一瞬に消える、
と思ったが、「ささささとしたのもいた
らしい」爆竹とともにドラムカンの
ケートよりさささささささささささ、各
部隊があらわれる。とたんに起る「We
shall overcome、おりしも先頭を
万博の旗は真紅の太陽となって燃えあ
がり、灰燼となってたれこがった。
行列の中には昨夜采から捨集めた
野良犬も、およそ数百匹(数はかぞえ
ないから知らん)。
企画委員長の苦心もむなし、各地
才別のスラカードや堂々たる大行列の
代りに壊せられたのは、そろそろ、ば
らばら、どっと会場中央へ突入して、
明日からのプロタラムの成功を期待せ

せた。

山田憲隆ハンパク協会会長先生(現在
失格中)は壇壇に九州から持ち込んだ
ファントムの残カキを引っぱり出した
。「これが国家権力のさちやない作品
だ。私達の意志は、国家の創造のそれ
よりも広く、官僚制・ラミッドに対し
て、ここに結集した〇千人(詳しくは
今夕刊のヌル新の監視片発表の二乗倍
をして下さい。)で、いくらでも横の
連携で意志を示せる。とに角このハン
パクはオカミに對抗することなんか問
題にしていな。」

おつぎは妊娠五ヶ月の腹をかかえた
小田実氏。「20数年前の8・14に兵器
工場であったこの公園を舞台に日米の
国家権力がぶつかり合い、ここが爆撃
され多くの人々が、ここで死んだ。
国家にはやはり人民は、どうでもいいん
じゃないか」「それから、このハンパ
クの今日を出席者として、南ベトナム
臨時革命政府をわれわれは承認する。
そのために、この横に立ててある大立
着に署名をしよう。」

午後五時現在、すでに署名した人員

の数は五九三八名をこえたものと推定
される。

8月7日 水曜日

- 17時-21時半
- ※ハンパク市民大学
- 「科学と戦争」 山田憲隆・広
重徹・中岡哲郎
- 17時-19時半
- ※討論会「高校生運動について」
- 17時-22時
- ※シンポジウム「権力との闘い」
橋本峰雄・市川白彦・笠原才光
- 17時-22時半
- ※ハンパク劇場「戦場のピクニック」
- 「白雪姫」・「戦場のピクニック」
- 17時半-18時半
- ※ぬいぐるみ劇 (潮之会)
- 18時半-20時
- ※ハフニング
- 19時半-21時
- ※講演「プロレタリア文化大革命」
- 「大谷竹山」
- 21時半-1時
- ※映画「左様の森」・「三里塚の夏」
- 20時-21時 ※映画「夜間中学生」
- 21時-22時 ※映画「アートの記録」
- 22時半-10時
- ※映画「イントロピッドの四人」・「新
ツアーの反中国暴行その他」
- 21時半-1時
- ※オールナイトティーチン
- 「沖繩レバト友戦大阪行動委
員高校生ティーチン(オール
ナイト)

〇〇日ひる
プログラム

11時—16時半
★高校生フォーラム
タウン。

「解フオ区」
岡林信康・高石友也・高田渡・中川五郎
アールズ 他

13時—14時
★ハスニソタ
潮之会

13時—16時半
★討論会
「斗争とは何か」
北小路敏・小中陽太郎・戸村一作・宮岡政雄・町田有三

社会
〇〇日の1日
刊ハンプク朝
刊は、正千頃
刊行します
して待期待。

おれはお父ちゃん中学生

ちっちゃい男の子のよこせとせとその子のパンツを洗っている、オジサンのおせなかに「夜間中学生」というセッケン。なんやう曰くありとそつそく記者は質問した。

「おれたちは教育をうける権利。職業セクタク（パンツのセクタクではナイム）の権利をうばわれ

てきた。全国に二二〇万以上の義ム教育不祝学者があるのだ。だからどうぼうしてでも何でもよい、がんばって生きろ、という意味でおれの息子に生ちゃんという名をつけた。死んではだめ。人ごころし戦争は息子のためにもお断わり。ハ

黒字に「生」と白くぬいた息子の旗がテントにひるがえっていた。

かたかたパンパン

六日深夜音もなく登場。とつせん奇声を発してのジタタタエモ訓練に街頭へ出動。余りにも重すぎた斗争に口数も重い。ただ一言「オレ達はどうしてとつてとりまくるぞ。ただそれだけのために来た。小屋に書きなぐられた落書きが、かれらに代って全てを物語る。いっぴかり君は、疲れを、世の悔を、又勝ち負けを、戦いは、多行を果てに、今や何ぞか言わん。

ANTI SAPPORO '72

ウキウキカでとやるで

大阪城では市民はあんまりきよらんかもしれんから、むしろは梅地下でも「反博」をやりまっせ。フォーラム集会をでっかくする。それに阪大斗争の写真展も見に来てくれ。日本の平和と民主タギを死をもて守る機動隊の勇姿がおがめろよ。

とつとつ若い
おばさんたち
婦人民主クラブ

「殺して 殺して、ホロモウケ！」
といつたタテ着をかかげたテントに近づいてみる。そこには、やさしげな「婦人民主クラブ」という旗がひらめく。
平均年令オヨソ 20才のおばさまがずらりとならんで、ゆが悪く束れりとはかり、熱っぽく……
「農業に少し手を加えれば、ベトナムをくかて用いられるのヨ。生物、化学、兵器にまわり得るんですヨ。……」

兄ちゃんとお学生と

暑い。1ツ。その中で楽しいのが一人いる。……
コーラ売りの兄ちゃん。「……おれも立場がちがえびでみていとおもうでエ。街でブラブラしてる連中よりずつとマシみたい……」という。
ヤマの1オ、そのほるかにマシと云われたぼくらの学生運動各派討論会は、大テントの中で、大自散。

「我々ワア……」斗争ノウ……勝利オウ……
みんなききとれていのかな、判つてるのか？
神妙を顔付と、時々マジ。かしら大阪城公園
8月7日は、すこしずつ暮れはじめてきた。

ハンパク

お城の石垣にデバカメ?

会場×ロ正面に面したお城の石垣に、十数人、正体不明のアマシキ男たちが陳取つて、双筒鏡で何やら凝視！している。馬用心。御用心。
とくに女の子は、大阪城から見える位置で着替したアカンヨ。もし覗き魔を確認したら、すぐとなりの機動隊に告げよう。
野郎は、堂々と陳列して、オーチンチン。そのすまの旦那オ、ごころうさん。とやらがして差支えなし。
社員大集集。毎日正午、五時、夜十二時に開かれておおいで下さい。一輪集会がー